

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	三川
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 4 2 2, 0 7 9 千円	
年 効 用	②	3 0 1, 5 2 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	2 9 8, 1 1 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	5, 6 9 6, 3 5 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9, 5 4 8	冷害防止に伴う収量増 対象作物：水稻
営農経費の節減	営農経費節減効果	7, 7 3 7	用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	7 6, 9 9 6	用水路整備に伴う施設の維持管理費の減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果	△ 4 7 9	付替道路の建設により車両の走行経費が増加する効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 0 3, 0 8 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	4, 6 3 6	用水路の整備に伴い開水路の暗きょ化、転落防止施設等の設置に伴う安全性確保による効果 対象施設：管水路、フェンス
計		3 0 1, 5 2 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	吉沢
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 7 1 1, 0 8 7 千円	
年 効 用	②	2 8 0, 0 0 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 0 3, 8 5 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0. 0 4 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	5, 5 5 2, 8 8 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 7	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 3, 5 7 9 冷害防止に伴う収量増 対象作物：水稻
	品質向上効果	1 9 6 関連事業による効果
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2 5, 0 6 4 用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	5 4, 7 3 5 用水路整備に伴う施設の維持管理費の減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果	7 6 1 農産物の生産並びに流通に係る輸送経費が節減される効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 0, 4 3 7 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1 1 9 用水路の整備に伴い開水路の暗きょ化、転落防止施設等の設置に伴う安全性確保による効果 対象施設：管水路、フェンス
	水辺環境整備効果	6 5 9 周辺の景観や環境に配慮した整備を行うことにより水辺空間が保全、創造される効果
	河川流況安定効果	1 4, 0 2 1 水源開発により河川への還元水の増加が流況を安定させる効果
	地域用水効果	4 3 8 用水路の整備により営農・防災用水機能が向上し経費が節減される効果
計		2 8 0, 0 0 9

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	北海道	地区名	第1支線
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	367,500千円	
年 効 用	②	22,849千円	
廃 用 損 失 額	③	41,279千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0518	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	399,821千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,578	用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	8,303	用水路整備に伴う施設の維持管理費の減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	11,930	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	38	用水路の整備と共に安全施設を設置することにより事故率の減 対象施設：用水路
計		22,849	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	北海道	地区名	御茶の水
-----	------------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	509,811千円	
年 効 用	②	28,043千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	538,253千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	12,441	排水機能が向上し、被害防止、立地条件好転による収量増 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆 たまねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,501	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆 たまねぎ
	維持管理費節減効果	△3,589	排水路整備に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,690	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		28,043	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	北海道	地区名	瑞生第2
-----	------------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	154,998千円	
年 効 用	②	10,054千円	
廃 用 損 失 額	③	18,294千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0526	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	172,847千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.11	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,008	排水機能が向上し、被害防止、立地条件好転による収量増 対象作物：水稻、大豆、小麦、てん菜、たまねぎ、かぼちゃ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,729	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、てん菜、たまねぎ、かぼちゃ
	維持管理費節減効果	1,211	排水路整備に伴う施設の維持管理費の減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,106	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		10,054	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	青森県	地区名	土場川
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	133,350千円	
年 効 用	②	11,549千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0589	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	196,078千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.47	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9,268	乾田化による単収の増及び転作作物面積の増加に伴う収益の増加 対象作物：水稲、大豆、ながいも、にんにく
営農経費の節減	維持管理費節減効果	725	農業用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,322	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	234	環境に配慮した施設の整備による水辺環境の保全 対象施設：魚巢ブロック水路
計		11,549	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	秋田県	地区名	鷹巣三堰
-----	----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	378,000千円	
年 効 用	②	22,929千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	384,070千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.01	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の削減	維持管理費節減効果	5,909	用水施設の更新に伴う施設の維持管理費の削減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	15,650	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1,370	転落防止柵の整備による安全性の向上 対象施設：フェンス
計		22,929	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	秋田県	地区名	松倉
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	619,500千円	
年 効 用	②	37,313千円	
廃 用 損 失 額	③	2,440千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0557	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	667,452千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の削減	維持管理費節減効果	6,934	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の削減 対象施設：頭首工、分水工
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	30,379	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：頭首工、分水工
計		37,313	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	山形県	地区名	広幡
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	199,500千円	
年 効 用	②	17,977千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0589	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	305,212千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.52	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4,272	乾田化による単収の増及び転作作物面積の増加に伴う収益の増加 対象作物：水稲、大豆、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	7,733	乾田化に伴う労力の省力化、機械経費の節減 対象施設：排水路
	維持管理費節減効果	1,775	農業用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,197	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、用水路
計		17,977	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	福島県	地区名	新安積（一期）
-----	----------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	12,613,210千円	
年 効 用	②	812,121千円	
廃 用 損 失 額	③	121,818千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0542	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	14,861,964千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.17	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	80,683	用水路改修やほ場の区画整理による用排水改良に伴う転作作物の面積拡大や作物の増収対象作物：水稻、大豆、きゅうり、にら、いちご
営農経費の節減	251,121	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、きゅうり
	38,214	農業用水路の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	437,825	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	1,759	用水路にネットフェンスを設置することによる安全性の向上 対象施設：用水路
	236	非農用地の創設により、合理的、経済的に用地取得が可能 対象施設：農地
	2,283	事業区域内に埋蔵文化財があり、文化遺産が後世に継承 対象施設：農地
計	812,121	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	茨城	地区名	北条
-----	----------	-------	----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	5 2 1, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 2, 7 5 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5 5 6, 1 6 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 0, 9 4 0	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 8, 5 9 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	2, 9 8 8	安全施設の設置による安全性の向上 対象施設：ネットフェンス
	水辺環境整備効果	2 4 0	用水路の一部によどもを設置し、魚類の生息環境に配慮することにより水辺環境を保全 対象施設：用水路
計		3 2, 7 5 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	横利根川
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	943,000千円	
年 効 用	②	60,433千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0616	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	981,055千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.04	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	維持管理費節減効果	18,774	用水施設等の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場,用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	40,787	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場,用水路
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	872	老朽化した公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：市道舗装
計		60,433	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	茨城県	地区名	潮来出島
-----	------------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 4 6, 1 2 3 千円	
年 効 用	②	2 8, 6 7 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 0 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	4 7 7, 9 3 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1, 0 9 2	排水改良による単収増加及び土地利用 率の向上に伴う作付け面積増 対象作物：水稲，ブロッコリー，トウ モロコシ等
営農経費の節減	営農経費節減効果	4, 6 0 9	排水路改修に伴う機械の利用効率の向 上 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	9 9 9	排水路の改修に伴う施設の維持管理費 の減 対象施設：排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1, 8 6 1	老朽化した施設の更新による従前の農 業生産の維持 対象施設：排水路
地域の保全環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	1 1 5	排水路の一部でフリュームの底を無く し、植物を繁茂させることで生物の生 息空間に配慮し水辺環境を保全 対象施設：排水路
計		2 8, 6 7 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	茨城県	地区名	小高
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	217,000千円	
年 効 用	②	15,371千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	266,395千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.22	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	9,430	排水改良による単収増加及び土地利用 率の向上に伴う作付け面積増 対象作物：水稲、キュウリ、トマト等
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,743	排水路改修に伴う機械の利用効率の向 上 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	934	排水路の改修に伴う施設の維持管理費 の減 対象施設：排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	978	老朽化した施設の更新による従前の農 業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	286	排水路の一部に魚巢ブロックを設置 し、魚類の生息環境に配慮すること により水辺環境を保全 対象施設：排水路
計		15,371	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	埼玉県	地区名	大塚
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 1 9, 0 0 0千円	
年 効 用	②	7 8, 0 0 0千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 9 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 1 2 7, 1 6 7千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	6 1 7	排水改良により,排水不良に起因する被害を防止することによる増収 対象作物：ねぎ, ブロッコリー, さといも
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 0, 2 0 9	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路,排水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 6, 4 4 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路,堰上げゲート, 排水機場
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	7 2 5	排水路の一部に魚巢ブロックによる深みを設置し、魚類等の生息環境に配慮することにより水辺環境を保全 対象施設：排水路効果
計		7 8, 0 0 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	千葉県	地区名	新川
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 1 6 6, 0 0 0千円	
年 効 用	②	7 3, 6 3 0千円	
廃 用 損 失 額	③	1 0 6, 6 4 0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 1 9 8, 8 6 0千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 2	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2, 5 7 6	排水改良により,排水不良に起因する被害を防止することによる増収 対象作物：水稲, ねぎ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 7, 3 0 9	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 9, 3 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路, 堰上げゲート
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	4, 4 3 4	排水路の一部に布団籠や魚巣ブロックを設置し、生態系の保全を図ることにより水辺環境を保全 対象施設：排水路
計		7 3, 6 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	長野県	地区名	四ヶ堰
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	378,000千円	
年 効 用	②	19,751千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0496	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	398,205千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,651	用水改良により、用水不足に起因する被害を防止することによる増収 対象作物：水稲
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3,229	用水路の改修に伴う用水路の維持管理費の節減 対象施設：幹線用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9,848	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3,826	ネットフェンスを設置することによる安全性の向上
	地域用水効果	354	用水路の改修による、防火用水としての利用の増加及び経費節減
	水辺環境整備効果	843	暗渠区間に魚類の生息空間に配慮するための水槽を設置することにより水辺空間を保全 対象施設：用水路
計		19,751	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	掛川幹線
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	721,000千円	
年 効 用	②	39,636千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0522	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	759,310千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	12,660	用水施設のパイプライン化に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	25,250	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	1,726	老朽化した公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：市道舗装
計		39,636	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	菊川左岸幹線
-----	-----------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	641,000千円	
年 効 用	②	38,414千円	
廃 用 損 失 額	③	13,650	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	680,997千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	16,966	用水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	21,448	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：開渠工，パイプライン，
計		38,414	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	柏崎 1 期
-----	-----------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	70,101,050千円	
年 効 用	②	3,722,494千円	
廃 用 損 失 額	③	788,564千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	47年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0506	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	72,778,511千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	668,245	干害防止及び田畑輪換による効果 対象作物：水稻、大豆、きゅうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,814,099	用水施設の改良に伴い水管理が合理化する等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆
	維持管理費節減効果	△5,474	現況農業用排水施設の新設、改修 対象施設：用水路、水管理システム等
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	804,283	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、水管理システム等
地域の生活環境の保全向上	安 全 性 向 上 効 果	12,535	集落周辺等の幹線用水路に防護柵等の安全施設を設置
	公共施設保全効果	3,003	付替え道路等の耐用年数が増加し便益が向上
	河川流況安定効果	389,842	水源開発により河川への還元水の増加が流況を安定させる効果
	地 籍 確 定 効 果	12,360	関連事業であるほ場整備の実施により地籍が明確化
	保 健 休 養 効 果	23,601	農業用排水施設の新設更新により観光資源として利用できる効果
計		3,722,494	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	富山県	地区名	上条
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	724,500千円	
年 効 用	②	39,642千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0527	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	752,220千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,561	水田の用水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：大豆、ねぎ、さといも
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6,664	用水路の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	27,789	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1,628	用水路の一部区間に転落防止柵の設置を行う。 対象施設：用水路
計		39,642	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	富山県	地区名	古沢
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	133,000千円	
年 効 用	②	9,704千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	22年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0705	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	137,549千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6,962	水管理施設の構築に伴う施設の維持管理費の節減。 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2,742	機能低下した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		9,704	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	富山県	地区名	常西
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	472,000千円	
年 効 用	②	44,145千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	16年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0888	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	497,388千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	38,118	水管理施設の構築に伴う施設の維持管理費の節減。 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,027	機能低下した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		44,145	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	富山県	地区名	常東
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	472,000千円	
年 効 用	②	47,383千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	17年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0849	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	558,291千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.18	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	11,669	水管理施設の構築に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	35,714	機能低下した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、水管理施設
計		47,383	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	福井県	地区名	三方
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	945,000千円	
年 効 用	②	89,598千円	
廃 用 損 失 額	③	40,740千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	16年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0891	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	964,849千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	13,325	揚水施設等の更新・管理の高度化を図り施設の維持管理費を節減 対象施設：揚水機場、水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	76,273	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場
計		89,598	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	福井県	地区名	春江北部 2 期
-----	-----------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	13,215,000千円	
年 効 用	②	805,050千円	
廃 用 損 失 額	③	141,116千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0581	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	13,719,914千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	20,853	水田の用水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大麦、大豆、トマト、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	46,851	用水施設の改良に伴い水管理が合理化する等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大麦、大豆、トマト、キャベツ
	維持管理費節減効果	60,028	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	677,318	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		805,050	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	揖斐川以東
-----	-----------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 4 7 0, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	1 0 8, 6 1 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	1, 0 1 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 9 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 8 3 6, 8 4 0 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6 1, 2 5 8	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 7, 3 5 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、揚水機場
計		1 0 8, 6 1 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	愛知県	地区名	村高
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6,900,250千円	
年 効 用	②	397,230千円	
廃 用 損 失 額	③	79,900千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0542	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	7,249,067千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6,220	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大及び作物の単収の増加 対象作物：水稻、大豆、苺、茄子
営農経費の節減	101,952	用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、苺、茄子
	16,416	用水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	240,126	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	17,747	水路改修に伴い社会的要請のある区間を暗渠化することによる安全性向上 対象施設：用水路
	1,845	水路改修に伴う公共埋設施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：水道等公共施設
	12,924	地域用水等の整備によるアメニティ向上、地域生態系等の保全、緑化による景観環境の維持・形成
計	397,230	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	岐阜県	地区名	西八間
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	399,000千円	
年 効 用	②	32,153千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0570	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	564,088千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.41	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,898	水田の乾田化等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,635	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	14,240	排水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	12,783	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	597	排水路の一部を魚類の生息環境に配慮した構造にすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		32,153	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	愛知県	地区名	高河原
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	478,000千円	
年 効 用	②	26,920千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	493,040千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,565	水田の乾田化等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大豆、小麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,642	排水改良により水稻の水管理作業時間の短縮 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	1,462	排水施設の改修及び新設に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路・乾田化ポンプ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	20,251	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路・乾田化ポンプ
計		26,920	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	三重県	地区名	宮川4工区
-----	-----------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	8, 3 9 2, 9 3 7 千円	
年 効 用	②	5 0 8, 8 4 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	9 5, 6 1 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 5 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	9, 0 3 9, 9 1 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 5, 4 0 4	用水路の改修に伴う水田汎用化による作付面積の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	6, 0 3 0	水管理施設の改修に伴う用水管理時間の軽減 対象施設：水稻
	維持管理費節減効果	3 1, 2 1 8	用水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 1 2, 9 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	3, 9 5 6	用水路の改修に伴い社会的要請のある区間を暗渠化することによる安全性向上 対象施設：用水路
	公 共 施 設 保 全 効 果	2 9, 3 1 3	水路改修に伴う公共埋設施設の更新 対象施設：水道等公共施設
計		5 0 8, 8 4 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	三重県	地区名	伊賀北部
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	417,100千円	
年 効 用	②	23,807千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	446,660千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,890	水管理施設の改修に伴う用水管理時間の軽減 対象施設：水稻
	維持管理費節減効果	9,066	用水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9,851	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		23,807	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	大原
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3, 1 7 4, 1 5 0 千円	
年 効 用	②	2 0 5, 3 6 0 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0. 0 5 9 1	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	3, 4 7 4, 7 8 8 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 2, 8 4 4	水管理施設の改良に伴う用水管理時間 の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	2 6, 3 6 5	用水施設等の改修に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設：用水路、取水施設、ダム 施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 2 6, 1 5 1	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路、取水施設、ダム 施設
計		2 0 5, 3 6 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	能登川
-----	-----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	330,000千円	
年 効 用	②	39,034千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	11年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1148	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	340,017千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6,405	用水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：分水工、水管理改良施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	32,629	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：分水工、水管理改良施設
計		39,034	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	長浜南部
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	982,186千円	
年 効 用	②	93,959千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	16年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0886	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,060,485千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6,700	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、水管理改良施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	87,259	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、水管理改良施設
計		93,959	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	姉川左岸
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	400,960千円	
年 効 用	②	47,156千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1087	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	433,818千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5,336	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：水管理改良施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	41,820	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、水管理改良施設
計		47,156	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	新旭
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	391,000千円	
年 効 用	②	46,275千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	11年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1171	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	395,175千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.01	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	11,231	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、水管理改良施設、循環かんがい設備
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	34,728	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、水管理改良施設
地域の生活環境の保全・向上	水 質 浄 化 効 果	316	循環かんがい施設の整備による水質の保全 対象施設：循環かんがい設備
計		46,275	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	鴨川流域
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	475,000千円	
年 効 用	②	53,178千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1094	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	486,088千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	11,609	用水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、揚水機場、水管理改良施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	41,569	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、揚水機場、水管理改良施設
計		53,178	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	兵庫県	地区名	天下溝
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	261,450千円	
年 効 用	②	22,359千円	
廃 用 損 失 額	③	5,551千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0550	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	400,976千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.53	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	10,077	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	11,946	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	270	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：用水路
	水辺環境整備効果	66	用水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した施設とすることによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
計		22,359	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	万願寺川南部
-----	-----------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 2 9, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	9 5, 7 8 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	2 4, 8 8 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 6 0 6, 9 5 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 5 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 8, 6 2 5	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：取水施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 6, 6 4 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：取水施設
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	5 2 0	魚類等の生息環境に配慮した施設の設置による水辺環境の保全 対象施設：取水施設
計		9 5, 7 8 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	兵庫県	地区名	大川
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	783,880千円	
年 効 用	②	52,117千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	857,188千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.09	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	25,402	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、飼料作物、玉葱、レタス、キャベツ
	品質向上効果	2,120	農道舗装による走行中の農産物の荷痛み等が軽減 対象作物：玉葱、レタス、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	22,799	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、飼料作物、玉葱、レタス、キャベツ
	維持管理費節減効果	△1,658	用排水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：排水機場、用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	968	農道が改良される事による農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 7 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害防止効果	1, 4 1 3	排水機場の整備による農地の被害の防止 対象施設：ほ場
	非農用地等創設効果	4 5 5	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路
	水辺環境整備効果	2 4 4	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した施設とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		5 2, 1 1 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業用水再編対策事業	都道府県名	和歌山県	地区名	日高川Ⅱ期
-----	------------	-------	------	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 2 1 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 7 3, 6 6 8千円	
廃 用 損 失 額	③	1 9, 2 4 9千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 5年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 +建設利息率)	⑤	0. 0 6 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 7 4 6, 1 6 5千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 8, 8 4 2	冬期用水確保による単収増 対象作物：白菜、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	9, 6 3 6	用水路等の改修、統廃合に伴う施設の 維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 2 5, 1 9 0	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路
計		1 7 3, 6 6 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	岡山県	地区名	笠岡湾干拓
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	210,000千円	
年 効 用	②	22,341千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	14年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0984	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	227,042千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1,431	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	20,910	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、水管理施設
計		22,341	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	長崎県	地区名	三会原
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1 2 7, 0 5 0 千円	
年 効 用	②	1 8, 4 4 3 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	1 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 1 2 4 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1 4 7, 6 6 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3, 2 8 7	揚水機運転の自動化に伴う維持管理費の節減 対象施設：電気設備
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 5, 1 5 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：電気設備、通気施設、水管橋
計		1 8, 4 4 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	長崎県	地区名	山田
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	751,000千円	
年 効 用	②	47,163千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0589	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	800,730千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	13,072	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、ブロッコリー等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	265	排水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	24,052	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
施設更新による災害防止	災害防止効果	6,801	洪水の溢流による農地災害、作物に対する湛水被害解消の効果 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	2,973	環境に配慮した構造により地域住民の生活環境や利便性の向上を図ることにより創造される効果 対象施設：排水路
計		47,163	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	熊本県	地区名	楠浦
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	696,800千円	
年 効 用	②	39,264千円	
廃 用 損 失 額	③	9,304千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	744,324千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,147	用水施設の改修による用水運搬に係る労働時間や機械経費の節減 対象作物：かんしょ、レタス、いんげん
	維持管理費節減効果	3,207	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	31,910	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
計		39,264	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	熊本県	地区名	画図南部
-----	------------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 4 7 8, 4 9 5 千円	
年 効 用	②	2 6 5, 2 3 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	4, 5 7 3, 0 5 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 2	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 0, 3 8 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦、トマト、なす、レタス、メロン
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 3 7, 2 5 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	1 2, 1 5 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水機、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 5, 4 4 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		2 6 5, 2 3 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	宮崎県	地区名	岩熊
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1 3 7, 5 0 0 千円	
年 効 用	②	7, 8 5 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 4 9 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1 5 9, 5 7 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 5 4	用排水施設等の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6, 2 5 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
施設更新による災害の防止	災 害 防 止 効 果	1, 3 4 0	用排水施設等の改修に伴い、作物及び家屋に及ぼす災害の防止
計		7, 8 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	西京
-----	----------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	281,000千円	
年 効 用	②	39,622千円	
廃 用 損 失 額	③	1,583千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	10年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1257	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	313,628千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.11	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	7,472	ダム本体等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：ダム本体・放流警報設備・ダム附帯設備・揚水機場・幹線水路・減圧水槽・ファームpond
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	32,150	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：ダム本体・附帯施設・ダムTM・警報施設改修・ダム諸量処理設備・電源空調設備・用水管理設備・用水設備
計		39,622	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	東江上
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 9 7 9, 8 6 0千円	
年 効 用	②	3 3 6, 1 9 2千円	
廃 用 損 失 額	③	8, 9 6 7千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 9年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	6, 3 1 0, 4 3 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 2 9, 5 7 2	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、輪菊、ゴーヤ、タバコ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 4, 9 7 9	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：葉たばこ、さといも、輪菊
	維持管理費節減効果	△1 0, 9 5 1	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：送水管、畑かん施設等
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 0 1	管路整備により、給水所（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：給水所
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	1, 8 9 1	管路埋設により、道路（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：農道・村道舗装
計		3 3 6, 1 9 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	高田
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	8 6 4, 6 0 4 千円	
年 効 用	②	5 4, 6 6 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	8 9 3, 1 6 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4, 0 0 7	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、とうがん、ゴーヤ
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 4, 5 0 4	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび、葉たばこ
	維持管理費節減効果	△ 3, 8 4 9	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：送水管、畑かん施設等
計		5 4, 6 6 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	福北
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 1 8 6, 9 5 9 千円	
年 効 用	②	1 3 0, 5 8 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 5 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 3 5 7, 2 0 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 0, 2 7 6	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、ゴーヤ、メロン、マンゴー、いんげん
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 8, 7 2 5	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび、葉たばこ
	維持管理費節減効果	△ 6, 1 0 4	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：送水管、畑かん施設等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 7, 6 9 2	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：浸透池
計		1 3 0, 5 8 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	北東第2
-----	----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 4 0 0, 0 3 3 千円	
年 効 用	②	2 7 2, 4 0 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	8, 6 6 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 4 8 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	5, 5 6 2, 0 6 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 8, 1 2 5	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、カボチャ、パパイヤ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 4 5, 0 0 8	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび
	維持管理費節減効果	△ 5, 6 8 4	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：揚水機、送水管、畑かん施設等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	3, 4 4 5	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：貯水池
	公共施設保全効果	1, 5 1 5	管路埋設により、道路（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：村道・農道舗装
計		2 7 2, 4 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	幕内（２期）
-----	----------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	5, 4 6 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	2 7 3, 5 6 0千円	
廃 用 損 失 額	③	2, 8 5 9千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	5 0年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0. 0 4 8 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	5, 6 4 9, 2 0 7千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 3	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 0, 2 9 2	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、馬鈴薯、パイヤ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 5, 8 0 8	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび
	維持管理費節減効果	△ 7, 7 0 1	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：ファームポンド、揚水機場、送水管、畑かん施設等
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 8 9	既設の給水所等の改良による従前の農業生産の維持 対象施設：給水所
施設更新による災害防止	災 害 防 止 効 果	3, 1 9 3	農地等からの土砂流出防止
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	3 2, 3 5 5	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：集水池、浸透池

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	地 域 用 水 効 果	8 8 0	畑かん施設が防火用水としての機能を有することによる防火水槽の設置費用節減
	安 全 性 向 上 効 果	1, 4 8 4	貯水池等にフェンスを整備することによって安全性を向上
	公 共 施 設 保 全 効 果	6, 7 6 0	管路埋設により、道路（旧施設）が持つ従来の機能の維持
計		2 7 3, 5 6 0	